

目次 第一卷 道教とは何か

序言

監修者 福井康順・山崎 宏・木村英一・酒井忠夫

道教とは何か

酒井忠夫・福井文雅

- 一、はしがき——五
- 二、道教とは何か——諸学者の考え——六
- 三、「道教」と「道家」——一〇
- 四、民衆道教と教会道教——一六
- 五、「道術」と「道士」——二〇
- 六、あとがき——二六

道教史

秋月観暎

- 一、古代の神々と信仰——三
まえおき 殷人の天帝と中国人の天神 神仙への憧憬
- 二、原始道教々団とその動向——三
太平道と五斗米道 原始道教々団成立の基盤
- 三、道教々団の成立と教学の発達——三
天師道の形成と発展 新天師道—北魏の国家道教—の出現 神仙思想の集大成
道教々学体系の整備 道教と仏教の教理的交流
- 四、隋・唐帝国と道教——五
隋王朝の統一と道教 唐帝国と道教々団の関係
- 五、宋代の道教と新道教の出現——五
宋王朝の道教信仰 新道教の興起 宋代道教々学の動向 浄明道の新教法
- 六、明・清時代の道教——七
明王朝の道教々団統制 清代教団道教の衰退

道教經典

尾崎正治 三

- 一、三洞四輔の成立——五
道教經典とは何か 道教經典の成立 道教經典の増加 現行本道蔵の編纂 三洞説の

- 成立 三洞説の内容 四輔の成立
- 二、道蔵編纂の歴史——六

陸修静の三洞経書目録 北周の經典目録 隋朝の道蔵 唐前半期の道蔵 唐中期の道蔵 唐後半期の道蔵 五代の道蔵 宋太宗の道蔵編纂 王欽若の宝文統録 張君房の大宋天宮宝蔵 徽宗の万寿道蔵 金の道蔵 元の道蔵 宮内庁書陵部の道蔵 その他叢書 昭和新修道蔵刊行の必要性

- 三、道教經典数種解説——一〇
- 上清経 上清大洞真経三十九章 靈玉経 三皇文 太平経 老子想爾注 老君音誦誠経

道教の神々

石井昌子 一三

- 一、道教の神々はいかにしてつくられたか——二三
はじめに 道教と老子 老子の神格化 老子はまず太上老君と呼ばれた 老君から道君と天尊へ 最高神格としての元始天尊の登場
- 二、道教の神々の系譜(一)

——『真靈位業図』の神々——一三〇

道教神統譜の作成者陶弘景 道教における曼荼羅『真靈位業図』 『真靈位業図』と『無上秘要』の關係 道藏の教主との關係 第一階位の天尊元始天尊 第二階位の女真南嶽魏夫人 第三階位の真仙たち 第四階位の天尊太上老君 第五階位の真仙たち 第六階位の天尊中茅君 第七階位の天尊鄧都北陰大帝

三、道教の神々の系譜(一)

——『三教源流搜神大全』の神々——一四〇

三教關係の通俗書の刊行 『三教源流搜神大全』 蚕神の原点蚕女 現世の運命を司る龍の神 廁の女神紫姑神 南方出身の神九鯉湖仙 水に関する神々水神・海神・潮神

四、白雲觀に祀られている神々——一四七

道教の総本山白雲觀 電灯のない生活白雲觀 白雲觀の殿堂と神々 民信の頂点長春真君 宋代以降の最高神玉皇大帝 道教の最高神(三清尊) 民衆の絶大な信仰を集めた、呂祖 明初の仙人道士張三丰真人 女性の神娘々神 真武大帝と文昌帝君 后土皇地祇を祀る元辰殿 菜園で聖誕祭を行なう土地神

五、泰山で信仰されている神々——一六三

道教靈地としての五岳 魂のふるさと東岳泰山 泰山の略図と泰山巡り 泰山の主神東嶽大帝 泰山繁昌の中心碧霞元君 碧霞宮詣で むすび

道教と宗教儀礼

松本浩一 一八六

一、神仙と巫祝——一七二

はじめに

二、台湾の道士とその儀礼——一七五

台湾の道士 廟における法事 改年^{かいねん}^{はらい}と^{はな}花 醮^うの祭り 普^ふ度 科儀 発爐と復爐

三、齋醮の発達——二一〇

初期の齋醮^{さいしやう} 修行形式の発達 醮の目的

四、唐代の齋醮と杜光庭——二二五

齋の種類 杜光庭 行道 宿啓 言功拜表 投龍壁

五、宋代の齋醮——二三三

民間への広がり 儀礼書の作成 雷法の発達 自然の力をとり込む 呪法の創始 おわりに 法術の伝授

長生術

坂出祥伸 三三九

一、見直される導引術——四二

なまぎよまな長生術 神仙思想と道家・医書 導引とは 導引と呼吸法・按摩 導引のなまぎよま 漢代の帛書『導引図』 口訣による伝授

二、体内をめぐる気——三七

呼吸法のあらまし 行気法の実例 呼吸法の発達と種類 胎息と守一 叩齒と嚙津 自己按摩

三、生を養う房中術——三三

房中術とは 房中術の祖・彭祖 房中術のかなめ(還精補腦) 淫猥になった房中術 長生には善功を積むべし

錬金術

村上嘉実 六五

一、錬金術の歴史——六七

過ちは真理への第一歩 錬金術の東と西 青銅器と鉄 日本刀 方士と技術 葛洪の『抱朴子』 唐の天子の中毒死 韓愈が見た水銀中毒 外丹より内丹へ 時世の变革

二、錬金術の理論——二九

万物の靈長 変化の法則 自然の金と人工の金 宇宙生成論 古代の元素思想 薬と血液 薬の種類 丹砂から金丹へ 玉 寒食散(五石散) 名山と齋戒禁忌 元素交換説の行方

三、錬金術の実験——三三

錬金術の真と偽 実験の材料 玄黄の秘密 黄白(金・銀) 金液 火薬の発明 燃焼

神仙道

山田利明 三九

一、神仙思想——三一

はじめに 不死の思想 三神山説 仙人 真人 神仙

二、秦漢の神仙方士——三一

秦始皇帝 徐市 盧生 秦代の神仙 漢初の道家 李少君 少翁 樂大 公 孫卿 前漢の神仙説 淮南子 黄白術

三、後漢の神仙道——三六

神仙道 唐公房碑 神仙方術 徐登・趙炳 劉根 左慈 帛家道 陰長生 後漢の神仙道